

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		8月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況	
						期間 (ピーク)	出荷総数		上旬	中旬			下旬
							千本	千本					
バラ	茨城	施設	アマダ アバランチエ サムライ他	周年	8 100%	270 100%		40	30	30	古河市 石岡市 茨城町	・生育は平年並み。 ・盆明け後半から出荷増の見込み。 ・病害虫の影響は特になし。	
	静岡	周年	サムライ オール4ラブ ベイブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 96%	650 100%	500 100%	35	30	35	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	高温により品質の低下が顕著で夏休みに入る生産者が出てくる見込み。中旬は減少する見込みで下旬から再開される見通し。下位階級は値段によって出荷調整される見込み。	
	愛知	周年	サムライ08 アヴァランチエ系 ゴールドラッシュ フレアー 他	4-3月		1,830 94%	770 98%	35	30	35	ひまわり 西三河 愛知みなみ 豊橋	・生産者減少の影響で出荷量は例年よりも少なくなる見込み。 ・例年通り旧盆前後で出荷休みを取る産地・生産者がいるため中旬は出荷量がやや少なくなる。 ・気温の上昇に伴い、花シミは非常にやすくなっている。特に出やすい品種が近年増えている。	
アルストロメリア	北海道	周年	アイスクリーム アバランジェ アーロン レモネード	周年 (5・10月)	695 96%	4,247 93%		33	33	34	岩見沢市 JAいわみざわ	暑さの為、全体的に少ない。特に黄色系オレンジ系についてはかなり少量となる。	
	青森	周年	オルガ アルー ピンクサプライズ	周年 (5~8月)	1.9 100%	1,083 109%	789 109%	50	30	20	藤崎町	生育は順調で、病害虫による大きな被害も見られず、出荷ピークとなっている。5月の低温、6月の干ばつの影響もなく、8月は平年並みの出荷量となる見込み。	
トルコギキョウ	北海道	促成~	ハピネスホワイト	8~11月	2,080 99%	3,201 108%		22	34	44	由仁町 JAそらち南	出荷始めから約1か月経ったが、天候によって多少増減もあったが、今月、出荷予定の生産者は、出荷量も増えてきていて、全体的に生育に関して順調である。	
			モンロー	8~11月						31			69
			モアナLP	7~10月						14			86
			マキアLP	7~8月				84	16				
青森		ホクトセイ ボヤージュ ロジーナ	6月~11月 (9月)	4.73 99%	869 114%	558 114%	40	30	30	つがる市 田舎館村 八戸市	【津軽地区】 越冬作は4月の低温により生育が遅れがみられ、4月植えは6月の高温により生育が早まっている。それにより、8月盆前の出荷が両作型の出荷がぶつかり、急増する可能性がある。また盆明けは急減する見込み。 【県南地区】 生育は順調で、八戸地区は7/15頃から出荷開始となる予定。		
茨城	促成 施設	レイナシリー ズ、ボヤ ージュシ リーズ ほか	周年 6月~7月	7 100%	52 100%		40	30	30	水戸市 銚田市	・生育は平年並み。 ・病害虫の影響は特になし。		
千葉	施設		4~8月 (6月) 10~12月 (11月)	7.0 103%	400 109%	300 107%	80	15	5	館山市 鴨川市 南房総市 (丸山、千倉)	・病害虫による品質低下は見られないが、生育遅延が見られる。 ・白、緑、ピンク、紫覆輪等が出荷される見込み。 ・8月上旬で出荷はほぼ終了する。		

花きの市場別販売概況(8月見通し)

令和3年7月31日現在  
 出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	全国的に天候悪く、夜温が低い為、例年より品質は安定している。しかし、湿度が高い為、花卉の柔らかい品種などはボトリチスやシミが発生。7月4週目の梅雨明けまで、品質に注意しながらの販売となった(大田)。山形、栃木、群馬、愛知などより入荷。大きな需要はないが数量も落ち着いており保合相場となった(FAJ)。高冷地、暖地ともに潤沢に入荷。ただ需要も少なく、相場低迷(第一花き)。高冷地主体の入荷。上位階級の引き合いが強い(世田谷)。これといった需要は無く、長雨、猛暑といった天候にも悩まされ専門店の動きは鈍い。入荷量は横ばい(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	高冷地主体の販売。西南暖地の上位等級が少なくなり、下位等級多めの入荷になる。下旬より入荷量は増加する。
		FAJ	高冷地は引き続き安定した入荷の予定。暖地は数量減り短いものが増えるため相場は下げ気味の見込み。
		第一花き	暖地ものが極端に減っていく見込み。相場は少しずつ回復するか。
		世田谷花き	引き続き高冷地主体の入荷。数量は減少。
		東日本板橋花き	猛暑で上位等級の発生は少なくなり中下位等級の比率が増えてくる。入荷量は上旬はやや多い見込み。
アルストロメリア	現状	全国的に出回り数量が減少、葬儀需要中心に問い合わせ多い状況。夏場、専門店の購入数は大きく減少した為、色目によって価格差があった。白・黄色・紫の引き合いは強く、他色は厳しい販売となった(大田)。長野、山形、愛知中心の入荷。数量は例年並み。葬儀需要主体の動きで前半特に白引合い強まる(FAJ)。山形、長野、愛知からの出荷。葬儀需要中心だが、堅調な販売(第一花き)。少量入荷で、安定相場。業務中心に引き合い続く(世田谷)。青森・北海道・愛知中心の入荷。昨年より多い入荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	北海道中心に、山形、長野、愛知中心の入荷。白・ピンク・黄色が中心となり、赤・オレンジ・紫は少なめ。数量は上旬に向けて増加、下旬に向けて落ち着いていく。
		FAJ	長野、山形中心の入荷予定。例年同様に7月に比べ入荷数量は減少し、それに伴い相場上がる見込み。
		第一花き	引き続き入荷量も少なく、堅調な販売ができそう。
		世田谷花き	更に減少傾向。
		東日本板橋花き	青森・北海道・愛知中心の入荷。前年並みの出荷量の予定。
トルコギキョウ	現状	長野や福島など高冷地の出荷が増えるが、千葉・茨城の生育不良により、前半は入荷数量少なめで高値での取引が続いた。7月中旬以降は高冷地の入荷が増加(大田)。福島・宮城・栃木中心に入荷。順調に高冷地へシフトし総入荷量の変動は無く堅調相場が続いた(FAJ)。中下旬より、高冷地が潤沢に入荷。それにより、販売苦戦している(第一花き)。北海道・福島・千葉県などから入荷。5月の低温の影響で遅れていたが、下旬になり、いつせいに咲き出し、潤沢(世田谷)。中旬頃から高冷地がまとまってくる(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	長野・秋田・福島などおおよそ順調な生育。パスマラ中心に事前提案を行う。
		FAJ	北海道からの入荷も開始。暖地ほぼ終了し高冷地での対応。数量は平年並みとなる見込み。
		第一花き	盆需要に期待したい。
		世田谷花き	盆以外に大きな需要は少なく、落ち着いた相場。
		東日本板橋花き	北海道・東北中心。前年並みの入荷量。
りんどう	現状	7/9(金)が7月盆の納めピークとなり、中旬以降厳しい販売展開となった。下旬より8月盆向けの早い納めあり。岩手中心に10日前後早い開花スピードで推移(大田)。栃木産の出荷が前進していた為に7月盆では岩手産中心の取引となった(FAJ)。やや前進傾向。東京盆明け、やや増えるが、そこまで下がらず(世田谷)。	
	見通し	大田花き	8月盆向けのピークは9~11日となるが、岩手は前週が出荷ピークとなる見込みの為、前倒し納品等調整しながら完納を目指す。秋田も1週間前後の前進傾向で推移している。
		FAJ	例年通りに岩手・秋田・山形産中心の入荷。7月後半から8月前半の取引は厳しくなる見込み
		世田谷花き	8月盆に向けて、集まるが、やや不足する見込み。下旬少ないかも。